

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	根治的胃癌術後患者の転帰評価における老年期栄養リスク指数 (GNRI) の臨床的意義
	研究対象者	2013年1月～2020年12月の期間に、神奈川県立がんセンターで根治的胃切除術を受けた胃癌患者 940 例を対象とした。
	研究目的	周術期の栄養不良は、術後合併症の増加や術後化学療法の継続率の低下、および長期予後と関連することが報告されており、近年栄養に関連した各種バイオマーカーの有用性が注目されている。その中でも、GNRI は日常診療で汎用される栄養指標を総合的に評価したものであり、より簡便かつ正確に患者の栄養状態を層別化できる可能性がある。本研究では、進行胃癌に対し根治的胃切除を施行した患者における GNRI と臨床転帰の関係を検討することを目的とした。
	研究方法	術前の血液検査結果、術前ステージ、手術内容、病理診断、臨床経過等の情報を用い、術前の血液検査結果、身体情報を用いて、術前 GNRI を算出し、高 GNRI スコア群 (GNRI : 98 ≤) と低 GNRI スコア群 (GNRI : <98) の2つに分類し、GNRI と全生存期間 (OS) および無再発生存期間 (RFS) との関連を検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号 (識別コード) で管理します。
	研究期間	西暦 2025 年 3 月 17 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[] 総長が研究実施を許可した日 [X] 西暦2025年4月頃 (研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・ 情報の項目 (チ ェック[X]が入 った項目を利用 します)	[] 試料:	[] 血漿、[] 血清、[] 全血、[] 末梢血から抽出した DNA、 [] 病理検体(具体的に記載: _____)、 [] 尿、[] 糞便、[] 唾液、[] 胸水、[] 腹水、[] 脳脊髄液、 [] 毛髪、[] その他(具体的に記載: _____)
	[X] 情報:	[X] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X] 年齢、[] 生年月日、 [X] 性別、[X] 既往歴、[X] 併存疾患、[] 外来日・入院日・退院日、[X] 臨床検査値、 [] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[] ゲノムデータ、[] 看護記録、 [] その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利 用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 胃食道外科 田邊美恵
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター消化器外科 胃食道外科 田邊美恵 045(520)2222(代) 利用停止のお申し出は 2025 年 3 月 31 日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	